作成日　2005 年　9 月　27 日
改訂日　2011 年　3 月　23 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	スタークル 1 キロ H 粒剤
会社名	三井化学アグロ株式会社
住所	東京都港区東新橋一丁目 5 番 2 号
担当部門	営業本部　営業企画部　マーケティンググループ
電話番号	03-3573-9617
FAX 番号	03-3573-9891
整理番号	AGA09098Ja_02
推奨用途及び使用上の制限	農薬(殺虫剤)

---

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

【物理化学的危険性】

火薬類	［分類対象外］	自然発火性液体	［分類対象外］
可燃性/引火性ｶﾞｽ	［分類対象外］	自然発火性固体	［分類できない］
可燃性/引火性ｴｱｿﾞｰﾙ	［分類対象外］	自己発熱性化学品	［分類できない］
支燃性/酸化性ｶﾞｽ	［分類対象外］	水反応可燃性化学品	［区分外］
高圧ｶﾞｽ	［分類対象外］	酸化性液体	［分類対象外］
引火性液体	［分類対象外］	酸化性固体	［分類できない］
可燃性固体	［分類できない］	有機過酸化物	［分類対象外］
自己反応性化学品	［分類できない］	金属腐食性物質	［分類できない］

【健康に対する有害性】

急性毒性(経口)	［区分外］	皮膚感作性	［区分外］
急性毒性(経皮)	［区分外］	生殖細胞変異原性	［分類できない］
急性毒性(吸入:ｶﾞｽ)	［分類対象外］	発がん性	［区分 1］
急性毒性(吸入:蒸気)	［分類できない］	生殖毒性	［分類できない］
急性毒性(吸入:粉じん)	［分類できない］	特定標的臓器毒性(単回暴露)	
急性毒性(吸入:ﾐｽﾄ)	［分類対象外］	(呼吸器系)	［区分 1］
皮膚腐食性/刺激性	［区分外］	特定標的臓器毒性(反復暴露)	
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	［区分外］	(呼吸器系, 腎臓)	［区分 1］
		吸引性呼吸器有害性	［分類できない］
呼吸器感作性	［分類できない］		

【環境に対する有害性】

水生環境急性有害性	［区分外］	水生環境慢性有害性	［分類できない］

……

GHS ﾗﾍﾞﾙ要素

【絵表示又はｼﾝﾎﾞﾙ】

【注意喚起語】　危険

【危険有害性情報】

・ 発がんのおそれ
・ 呼吸器系の障害
・ 長期にわたるまたは反復暴露による呼吸器系，腎臓の障害

【GHS 分類に該当しない他の危険有害性】

・ 有用生物類の蚕，ハチに対しても毒性が強いので，環境生物への影響に注意すること．

【注意書き】

［安全対策］

・ 使用前に取扱説明書を入手すること．
・ すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと．
・ 指定された個人用保護具を使用すること．
・ 粉じんを吸入しないこと．
・ 取り扱い後は，手や顔などをよく洗うこと．
・ この製品を使用する時に，飲食または喫煙をしないこと．

［応急措置］

・ 暴露または暴露の懸念のある場合，医師の診断あるいは手当てを受けること．
・ 気分が悪い時は，医師の診断あるいは手当てを受けること．

［保管］

・ 施錠して保管すること．

［廃棄］

・ 内容物または容器を廃棄する場合は，該当法規に従い，都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること．
・ 使用済みの容器は，他の用途に使用しないこと．

以下の点については，GHS 分類結果より GHS ﾗﾍﾞﾙ要素は非該当であるが，取り扱い時には注意する．

［安全対策］

・ 保護ﾏｽｸ，保護手袋，保護眼鏡，保護衣を着用すること．
・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること．
・ 環境への放出を避けること．

［応急措置］

・ 飲み込んだ場合，口をすすぐこと.
・ 吸入した場合被災者を空気の新鮮な場所に移動し，呼吸しやすい姿勢で休息させること.
・ 皮膚についた場合，多量の水と石鹸で洗うこと.
・ 眼に入った場合，水で数分間注意深く洗うこと. 次に，ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞを着用していて容易に外せる場合は外すこと. その後も洗浄を続けること.
・ 漏出物は回収すること.

［保管］

・ 容器を密閉し，換気の良い所に保管すること.

---

3. 組成，成分情報

単一製品・混合物の区別　：混合物
化学名又は一般名　：(*RS*)-1-ﾒﾁﾙ-2-ﾆﾄﾛ-3-(ﾃﾄﾗﾋﾄﾞﾛ-3-ﾌﾘﾙﾒﾁﾙ)ｸﾞｱﾆｼﾞﾝ混合物
別名　：ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ製剤

成分	ｼﾞﾉﾃﾌﾗﾝ	鉱物質微粉等
含有量	3.0%	97%
化学特性(化学式)	$C_7H_{14}N_4O_3$	-
官報公示整理番号 化審法 安衛法	 (5)-6767 8-(4)-1339	 - -
CAS 番号	165252-70-0	-

分類に寄与する不純物及び安定化添加物
：製品中に，結晶質ｼﾘｶを約 36%含有する.

---

4. 応急措置

吸入した場合　：異常を感じたり，気分が悪くなった場合には，直ちに空気の新鮮な場所に移動する. 症状変化が現れた場合には，直ちに医師の手当てを受ける.

皮膚に付着した場合　：汚染された衣類，靴などを速やかに脱ぐ.
付着した製品を拭い取り，水または微温湯で洗い流しながら石鹸を使って良く洗い落とす.
外観に変化が見られたり痛みが続く場合には，速やかに医師の手当てを受ける.

目に入った場合　：直ちに清浄な水で洗浄する.
洗眼の際，まぶたを指で良く開いて，眼球，まぶたのすみずみまで水が行きわたるように洗浄する.
ｺﾝﾀｸﾄﾚﾝｽﾞを使用している場合は，固着していない限り，取り除いて洗浄する.

眼の刺激が続く場合，速やかに眼科医の手当てを受ける．

飲み込んだ場合　：水で口の中を洗浄し，ｺｯﾌﾟ 1-2 杯の水または牛乳を飲ませて，直ちに医師の手当てを受ける．
可能であれば，指を咽喉に差し込んで吐き出させる．
被災者に意識のない場合は，口から何も与えてはならない．
毛布などで保温して安静に保つ．

応急措置をする者の保護　：救助者はｺﾞﾑ手袋と密閉ｺﾞｰｸﾞﾙなどの保護具を着用する．

---

5. 火災時の措置

消火剤　：棒状水，霧状水，泡，粉末，二酸化炭素

特定の消火方法　：火災発生場所の周辺に，関係者以外の立ち入りを禁止する．
移動可能な容器は，速やかに安全な場所に移す．
容器，周囲の設備などに散水して冷却する．
消火活動は，可能な限り風上から行う．

消火を行う者の保護　：消火作業の際は，状況に応じた保護具を必ず着用する．

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項，保護具及び緊急時措置　：漏出した場所の周辺にﾛｰﾌﾟを張るなどして，関係者以外の立ち入りを禁止する．
作業の際は保護具を着用し，接触および粉じんの吸入を避ける．

環境に対する注意事項　：河川などに排出され，環境に影響を起こさないよう注意する．

処理方法　：漏出したものをすくいとり，または掃き集めて紙袋またはﾄﾞﾗﾑなどに回収する．

二次災害の防止策　：付近の着火源となるものを速やかに取り除く．
危険なく出来るときは，漏出源を遮断し，漏れを止める．

---

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策　：換気の良い場所で取り扱う．
電気機器類は必要に応じ防爆構造の物を用い，静電気対策も行う．
吸入，皮膚への接触を防ぎ，また，目に入らないように適切な保護具を着用する．
取り扱い場所の近くには，手洗い，洗眼などの設備を設け，取り扱い後に，手，顔などをよく洗う．

局所排気・全体換気　：「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気，全体換気を行う．

安全取り扱い注意事項　：飲み込みを避ける.
取扱い後はよく手を洗う.
皮膚との接触を避ける.
粉じんの吸入を避ける.
熱源, 火気から遠ざける.
静電気対策を実施する.
環境への放出を避ける.

保管

適切な保管条件　：直射日光を避け, 冷暗所に保管する. 容器を密閉し, 異物の混入を避けて, 通気のよい場所に保管する.

安全な容器包装材料　：ｸﾗﾌﾄ紙袋, ｸﾗﾌﾄ加工紙袋

---

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度　：未設定

許容濃度

日本産業衛生学会　：未設定

ACGIH　：未設定

〈鉱物質微粉〉

管理濃度　：0.07 mg/m^3 （遊離ｹｲ酸含有率 36%の鉱物の粉じんとして）

許容濃度

日本産業衛生学会　：遊離ｹｲ酸含有 10%以上の粉じん
（遊離ｹｲ酸含有率 36%の鉱物の粉じんとして）
吸入性粉じん　1.38 mg/m^3
総粉じん　2 mg/m^3

ACGIH　：TWA　0.05 mg/m^3（結晶質ｼﾘｶ, 呼吸性粉じんとして）

設備対策　：取り扱い場所には, 全体換気装置を設置する.
取り扱い場所の近くに, 洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける.

保護具

呼吸器の保護具　：農薬用ﾏｽｸ

手の保護具　：保護手袋

目の保護具　：ｺﾞｰｸﾞﾙ, 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具　：保護帽子, 保護服, 安全靴

衛生対策　：飛散した粉じんを吸い込まないように適切な保護具を着用して取扱う.

---

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	: 固体（細粒）
色	: 類白色
臭い	: わずかな特異臭
pH	: 10.2
引火点	: 知見なし
融点	: 知見なし
嵩比重	: 1.10
溶解性	: 知見なし

---

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件下では安定.
反応性	: この製剤は消防法の自己反応性物質に該当しない. 酸化剤等の強酸化性物質と反応する.
避けるべき条件	: 加熱, 強酸化性物質との混合や接触.
危険有害な分解生成物	: 一酸化炭素, 窒素酸化物

---

11. 有害性情報

急性毒性

経口	: ﾗｯﾄ	LD_{50}	>2,000 mg/kg［区分外］
経皮	: ﾗｯﾄ	LD_{50}	>2,000 mg/kg［区分外］
吸入(ｶﾞｽ)	: GHS の定義による固体であるため, 分類対象外とした.		
吸入(蒸気)	: 知見なし［分類できない］		
吸入(粉じん)	: 知見なし［分類できない］		
吸入(ﾐｽﾄ)	: GHS の定義による固体であるため, 分類対象外とした.		

皮膚腐食性/刺激性　: ｳｻｷﾞ 刺激性なし［区分外］

眼に対する重篤な損傷/刺激性

: ｳｻｷﾞを用いた眼刺激性試験において, 適用後 1 時間に全例で評点 1 の結膜発赤および浮腫がみられたが, 適用後 48 時間までに消失したため, 区分外とした.

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性	: 知見なし［分類できない］
皮膚感作性	: ﾓﾙﾓｯﾄ　陰性［区分外］

生殖細胞変異原性　: 知見なし［分類できない］

発がん性　: 区分 1A の結晶質ｼﾘｶ(NITE)が約 36%含まれることから, 区分 1 とした.

生殖毒性　: 知見なし［分類できない］

特定標的臓器毒性(単回暴露)
: 区分 1(呼吸器系)の結晶質シリカ(NITE)が約 36%含まれることから, 区分 1 とした.

特定標的臓器毒性(反復暴露)
: 区分 1(呼吸器系, 腎臓)の結晶質シリカ(NITE)が約 36%含まれることから, 区分 1 とした.

吸引性呼吸器有害性　: 知見なし [分類できない]

---

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性　: コイ LC_{50}(96H) >1,000 mg/L に基づき区分外とした.

水生環境慢性有害性　: 知見なし [分類できない]

生態毒性

魚毒性	: コイ	LC_{50} (96H)	>1,000 mg/L
その他	: オオミジンコ	EC_{50} (48H)	>1,000 mg/L
	藻類	EbC_{50} (0-72H)	>1,500 mg/L

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　: 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し, 関係法令を遵守して適正に処理する.
廃棄処理を委託する場合, 処理業者等に危険性, 有害性を十分告知の上処理を委託する.

汚染容器・包装　: 空容器を廃棄する場合は, 内容物を完全に除去する. 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物業者に処理を委託する.
使用済みの容器は, 他の用途に使用しない.

---

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類　: 国連定義の危険物に該当しない.

海洋汚染物質　: 非該当

国内規制

陸上輸送　: 道路法等に定められている運送方法に従う.

海上輸送　: 船舶安全法に定められている運送方法に従う.

航空輸送　: 航空法に定められている運送方法に従う.

輸送の特定の安全対策及び条件
: 輸送前に容器の破損, 腐食, 漏れ等がないことを確認する.
転倒, 落下, 破損がないように積み込み, 荷崩れの防止を確実に行う.

車両，船舶には保護具（手袋，眼鏡，防じんﾏｽｸ等）を備える他，緊急時の処理に必要な消火器，工具等を備えておく．

緊急時応急措置指針番号　：171（低，中程度の危険物質）

15．適用法令

労働安全衛生法　：第 57 条の 2　施行令第 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき有害物質（ｼﾘｶ）

農薬取締法　：登録番号第 21276 号

16．その他の情報

引用文献

- 自社ﾃﾞｰﾀ
- 原材料の製品安全ﾃﾞｰﾀｼｰﾄ
- 上記以外の場合は，本文中に記載した．

記載内容については現時点で入手した資料に基づいて作成しております．記載のﾃﾞｰﾀ及び評価については必ずしも十分ではありませんので，取り扱いには注意して下さい．
なお，注意事項等については通常の取り扱いを対象にしたものですので，特別な取り扱いをする場合には，さらに用途・用法に適した安全対策を実施の上，お取り扱い願います．